項目	事項	内容	状況	中国地整		気象庁		岡山県		岡山市		玉野市		赤磐市		
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	
1) ハード対策の主な取り組み																
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策																
		<旭川> ・バイピング対策 ・流下能力対策	実施状況	<旭川> バイピング対策 流下能力対策	継続実施											
			今後の予定	<旭川> バイピング対策 流下能力対策	～R2年度											
		<県管理河川> ・堤防や拡幅等の整備 ・流下能力を阻害する堆積土の掘削や樹木の伐採 ・変状などが確認された箇所の速やかな修繕	実施状況			広域河川改修事業20河川、総合流域防災事業3河川をはじめ、県単独事業においても堤防や拡幅等の整備を実施。 H30年7月豪雨により大きな浸水被害のあった河川では、樹木伐採や河道掘削を緊急的に実施。 堤防点検等を実施し、緊急の修繕が箇所の対策を実施。				発災後から随時 (主には非出水期)						
			今後の予定			現在の取り組みを継続				継続実施						
■危機管理型ハード対策																
		<旭川、百間川> ・堤防天端の保護	実施状況	<旭川、百間川> ・堤防天端の保護	H28年度											
			今後の予定	—	—											
		<県管理河川> ・堤防天端の保護 ・堤防裏法灰の補強	実施状況			対策箇所を選定				R1年度						
			今後の予定			選定箇所において天端舗装を実施				～R3年度						
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																
		・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備	実施状況	公開用カメラの増設 事務所HP公開ライブカメラ数71箇所	H29年度	危機管理型水位計等の増設(78基) H30年度に48基、令和元年度に30基増設。(吉井川水系 22基、旭川水系 9基、高梁川水系 16基、その他 31基)				～R1年度						
			今後の予定	継続実施	継続実施	令和元年度増設箇所については、令和2年度の出水期までに公開する予定。				R2.6						
		・防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	実施状況							実施済み	H28年度	H26～28年度の3箇年で、市内49箇所を整備	H26～28年度	実施済み FM無線中継局(緊急告知ラジオ用)の整備	H30年度 R1年度	
			今後の予定							防災行政無線(アナログ)、防災行政無線(デジタル)の無線規格への適応 緊急告知ラジオの配備の促進	H31年度 (R1年度) ～R2年度			移動系代替整備としてIP無線、MC A無線などを検討 緊急告知ラジオの配備促進	H29年度～ R2年度～	
		・重要水防箇所の見直し	実施状況			令和元年度の出水期前に重要水防箇所の見直しを実施(破壊箇所及び一連区間、漏水箇所、陸間等の追加) 令和2年度の出水期前に重要水防箇所の見直しを実施(堤防点検結果や陸間の適正化に伴う廃止等) GISを活用した情報高度化				～R1年度						
			今後の予定								R2年度					
		・避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備	実施状況	水防資機材等の確認、確保	R1年度	各水防倉庫における水防資機材の備蓄状況を確認した。	H29年度～			水防倉庫の資機材点検、補充 町内会への備蓄土のう袋提供 一般市民への土のう配布	R1年度		土のう袋及びフルシート等を計画的に備蓄	～R1年度	市の職員を中心に水防資機材の確認、資機材を使った水防訓練を行った。 未定	H30年度 ～R2年度
			今後の予定	資材の確認及び不足した資材の確保	継続実施	定期的に水防資機材の備蓄状況を確認し、不足等が生じれば適宜補充を行う。	～R2年度			継続実施	R2年度		継続実施			
		・円滑な避難行動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	実施状況	危機管理型水位計の設置検討(3水系で32箇所)	H30年度	<危機管理型水位計等の増設(78基)> H30年度に48基、令和元年度に30基増設。 <量水標> 水位計に合わせて設置。 <河川監視カメラ> 令和元年度に41基増設。 (吉井川水系 7基、旭川水系 11基、高梁川水系 12基、その他 11基)				～R1年度						
			今後の予定	—	—	<水位計+カメラ> 令和元年度増設箇所については、令和2年度の出水期までに公開する予定。					R2.6					
		・河川管理者と道路管理者が協力し、堤防を活用した避難階段を整備	実施状況	河川・道路管理者が連携し避難階段を整備	H29年度											
			今後の予定	—	—											
		・ダム再生の推進(操作規則の再検討、治水機能の増強の検討)	実施状況	ダム部会を設置	R1年度	操作規則等の点検を実施					～R1年度					
			今後の予定	令和2年5月29日治水協定を締結	～R2年度	操作規則等の変更										
		・樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保(樋門や水門等の無動力化)	実施状況			水門・樋門等無動力化を実施するため、新規事業を創設					R1年度					
			今後の予定			規模や重要性等を踏まえ、優先順位の高い施設から無動力化(フラップゲート化)を実施					R2年度～					
		・河川管理の高度化の検討(陸上・水中ドローンや全天候型ドローン)	実施状況			先行事例の情報収集・研究に努める。					～R1年度					
			今後の予定			先行事例の情報収集・研究に努める。					R2年度～					
		・内水の排水活動に資する基盤等の整備	実施状況			過去の被災状況、流下能力、土地利用状況などを見ながら、緊急性や必要性の高い箇所から推進。 H30年7月豪雨により大きな浸水被害のあった河川では、樹木伐採や河道掘削を緊急的に実施。				発災後から随時 (主には非出水期)		平成30年豪雨で大きな被害があった排水区を加えた重点地区において、雨水幹線管きよ、ポンプ場の下水道整備を推進 町内会への可搬式ポンプの無償貸与		R1年度		
			今後の予定			現在の取り組みを継続				継続実施		継続実施		R2年度		

(赤字:令和元年5月29日取組方針改定により追加・変更)

項目	事項	内容	状況	真庭市		新庄村		久米南町		美咲町		吉備中央町		
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	
1)ハード対策の主な取り組み														
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策														
		<旭川> ・バイピング対策 ・流下能力対策	実施状況											
			今後の予定											
		<県管理河川> ・堤防や拡幅等の整備 ・流下能力を阻害する堆積土の掘削や樹木の伐採 ・変状などが確認された箇所の速やかな修繕	実施状況											
			今後の予定											
■危機管理型ハード対策														
		<旭川、百間川> ・堤防天端の保護	実施状況											
			今後の予定											
		<県管理河川> ・堤防天端の保護 ・堤防裏法灰の補強	実施状況											
			今後の予定											
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備														
		・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備	実施状況	水位計現状14カ所	R1年度									
			今後の予定	増強	R2年度									
		・防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	実施状況	各戸告知放送端末(FM)整備	R1年度	H30年度完了	H30年度	町防災行政無線をデジタル化町内全世帯へ個別受信機を無償貸与。	H25年度	IP告知無線機の機器更新実施。町全体の75%実施済	～R1年度	未実施	R1年度	
			今後の予定	移動系のデジタル化対応の検討	R2-3	—	—	—	—	防災行政無線の改良。 ※例:IP無線機を使用している屋外への通信設備の新設など。IP告知個別受信機の機器更新残り25%	R2年度	令和3年度に整備	R3年度	
		・重要水防箇所の見直し	実施状況											
			今後の予定											
		・避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備	実施状況	県民局協議(陸開資材、管理)	R1年度	未実施	R1年度	土のう袋や真砂土を購入した。	R1年度				全消防団員へ視認性の高い活動服及び雨合羽を配備	R1年度
			今後の予定	管理協定	R2	検討中	検討中	水防資機材等の確認及び不足した資機材の確保	継続実施			未定	R2年度	
		・円滑な避難行動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	実施状況			村管理2カ所、県管理1カ所設置済み。	～R1年度	町内2箇所に河川カメラを設置	H25年度	令和元年度に河川カメラの更新、新設(更新10カ所、新設5カ所)カメラデータについては、みさきTVデータ放送で、静止画像、ライブ配信。美咲町HPでも情報提供。	～R1年度			
			今後の予定			県管理河川監視カメラを1カ所設置予定。	R2年度	—	—	雨量計の新設、更新実施の予定(3カ所)	R2年度中			
		・河川管理者と道路管理者が協力し、堤防を活用した避難階段を整備	実施状況											
			今後の予定											
		・ダム再生の推進(操作規則の再検討、治水機能の増強の検討)	実施状況											
			今後の予定											
		・樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保(樋門や水門等の無動力化)	実施状況											
			今後の予定											
		・河川管理の高度化の検討(陸上・水中ドローンや全天候型ドローン)	実施状況											
			今後の予定											
		・内水の排水活動に資する基盤等の整備	実施状況							未実施	R1年度	未実施	R1年度	
			今後の予定							一級河川 吉井川沿川での排水排除ポンプの設置3カ所、水路等整備1カ所計画(下水道工事関連)	R2～	未定	R2年度	

項目	事項	内容	状況	中国地整		気象庁		岡山県		岡山市		玉野市		赤磐市		
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	
2)ソフト対策の主な取り組み (1)迫り来る危険を認識した的確な避難行動のための取り組み																
■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等																
		・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーション(旭川/百間川における国管理区間)	実施状況	想定最大規模洪水による浸水想定区域図を公表	H29年度											
			今後の予定	-	-											
		・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の作成・公表(岡山県管理区間)	実施状況					13河川の洪水浸水想定区域図を公表済(吉井川水系 3河川、旭川水系 4河川、高梁川水系 1河川、その他 5河川) 12河川について、早期公表に向け作業中(吉井川水系 10河川、高梁川水系2河川)	～R1年度							
			今後の予定					12河川を順次作成・公表	R2年度～							
		・広域避難計画の策定 ・広域避難体制の構築等	実施状況	未実施	R1年度	未実施	H30年度	災害時相互応援連絡協議会で協議中	R1年度～	未実施	R1年度	検討中	R1年度	検討中	R1年度	
			今後の予定	本省実施の自治体への実態調査結果を減災協機関へ周知・共有	R2年度	未定	～R2年度	引き続き協議を行う	継続実施	「岡山県災害時相互協定」と整合をとりながら策定、検討	R2年度	未定	未定	検討を継続	～R2年度	
		・避難場所等の有効性の検証や広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知、及びまるごとまちごとハザードマップ整備	実施状況					13河川の洪水浸水想定区域図を関係市町に提供済。 12河川について、早期提供に向け作業中	～R1年度	広域避難計画策定後、ハザードマップを作成、整備	H29年度～	検討中	R1年度	検討中	R1年度	
			今後の予定					12河川を順次作成・提供	R2年度～	広域避難計画策定後、ハザードマップを作成、整備 ○避難場所の現地確認を行い災害種別に応じた避難経路・場所を検討	R2年度	未定	未定	検討を継続	～R2年度	
		・要配慮者利用施設の避難計画の作成支援および訓練の促進	実施状況	岡山市講習会プロジェクトの開催日程を減災協機関へ周知・共有	R1年度			対象施設毎の水害リスク(浸水深・浸水継続時間)を調査した。	H29年度～	「避難確保計画の策定支援講習会」を実施(3回)	R1年度	R2年度までに作成予定	～R2年度	要配慮者利用施設における避難訓練を実施済み 避難確保計画の作成を促進	H30年度 R1年度	
			今後の予定	継続実施	継続実施			調査した水害リスクを整理し、市町村等を通じて施設管理者等に情報提供する。	～R2年度	継続実施	R2年度	R2年度改定予定の地域防災計画に、該当する施設名を掲載する	～R2年度	引き続き実施	継続実施	
		・ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用	実施状況	ハザードマップポータルサイトにて洪水や地震に係るリスク情報等を公開	継続実施			おかやま県統合型GISにより、防災情報の周知に努めている	H28年度～	未実施	R1年度			未実施	R1年度	
			今後の予定	HPの工夫、積極的な広報 ハザードマップポータルサイトにて洪水や地震に係るリスク情報等を公開	継続実施			防災情報の周知について、更なるHPの工夫や積極的な広報に努める	継続実施	HPでの避難所情報などを分かりやすく見やすいものに改善	R2年度			未定	～R2年度	
		・浸水被害軽減地区の指定(水防法第15条の6)	実施状況					-	-							
			今後の予定					-	-							
		・内水の排水活動に資するソフト対策	実施状況							平成30年7月豪雨の浸水調査を加味した内水浸水想定区域図を作成	R1年度					
			今後の予定							内水ハザードマップを製作	R2年度					
■情報の伝達・発信																
		・避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上	実施状況	水系一体のタイムラインの精度向上のため、検討会を複数回実施	R1年度	各自治体の作成支援	H29年度～	台風接近時には、気象台が発表する情報を説明会で確実に伝達し、市町村と協働でタイムラインを作成済	H30年度	運用に関する検討会やワークショップを実施済み H30年7月豪雨を受け、前線性降雨に対応した運用基準を適用	R1年度	作成済ではあるが、H30年岡山県にて設置していただいた水位計を利用して、精度の高い発令に努める。	R1年度	台風接近時には、気象台が発表する情報を説明会で確認し、県と協働でタイムラインを作成している	継続実施	
			今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	水位が上昇した場合の通報先を現在よりも下流側に伝達するよう設定し、早めの避難勧告の発令に備える	～R3年度	継続実施	R2年度	継続実施	継続実施	早めの避難勧告などの発令に備える ○早期避難所の開設 ○河川監視等の報告を災害対策会議で共有し、避難勧告等の発令の判断材料とする	継続実施	
		・多機関連携型タイムラインの拡充	実施状況	水系一体のタイムラインに拡充	R1年度	水系一体のタイムラインに拡充	R1年度	旭川水害タイムラインの作成に向け、検討を進めた	R1年度	水系全体の自治体も参加する体制に変更した	R1年度	未実施	R1年度			
			今後の予定	PDCAサイクルにより改善	R2年度	PDCAサイクルにより改善	R2年度	出水期までに策定予定	R2年度	継続実施	R2年度	未定	未定			
		・タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練	実施状況	未実施	R1年度	自治体訓練への参加や支援	H29年度～	リエゾン(情報連絡員)を市町村に派遣し、水害特別訓練を実施した	R1年度～	旭川水害タイムラインを運用開始 旭川水害タイムラインシンポジウムを実施済み	H29年度～	未実施	R1年度	赤磐市総合防災訓練を実施し、時系列に沿った実動訓練を実施 岡山県水害特別防災訓練に参加して風水害に関する向上訓練を実施	H30年度 R1年度	
			今後の予定	自治体が実施する災害訓練、水防訓練に参加	継続実施	継続実施	継続実施	引き続き、市町村の実情に応じた避難訓練等と連携した訓練を行う	継続実施	継続実施	R2年度	未定	未定	赤磐市総合防災訓練を実施予定	R2年度	
		・警報等に関連して「危険度を色分けした時系列」や「警報級の現象となる可能性」の情報提供開始及びメッシュ情報の充実化(地域に迫る危険の把握をサポート)等水害危険性の周知促進	実施状況	水害リスクラインによる水位情報の提供	R1年度	警報等における危険度の色分け表示 「警報級の現象となる可能性」の情報提供メッシュ情報の充実化	H29年度～	水防協議会(H30.5.14)において、水位周知河川の指定を公表(5河川)。また、水防協議会(R1.5.15)において、水位周知河川の指定区域の変更を公表(1河川)。第4回岡山県大規模氾濫減災協議会(H30.5.16)において、全市町村に浸水実績等の資料を提供。現行基準水位の運用等について、関係市町村にアンケート調査を実施	～R1年度							
			今後の予定	継続実施	R2年度	未定	～R2年度	旭川の県管理区間(大臣管理区間上流端～旭川ダム下流)を洪水予報河川に指定	R2年度							
		・危険レベルの統一化等による災害情報の充実と整理、洪水予警報や水位周知情報の発表形式の見直し等を行う	実施状況	洪水予警報や水位周知河川の発表形式の見直しを行った	R1年度	洪水警報、注意報の基準見直しを行い洪水予警報の実施要領の改正をおこなった	5月29日	水位周知情報(氾濫警戒情報、氾濫危険情報)の通知形式に警戒レベル相当や水位状況のポインテックを追加するなど見直しを行った。	R1年度							
			今後の予定	必要に応じて見直しを行う	R2年度	必要に応じて見直しを行う	～R2年度	課題が生じた場合は、必要に応じて更なる見直しを検討する。	～R2年度							
		・洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの構築)	実施状況	ホットライン構築済	R1年度			H30年度出水期前にホットラインを構築。 R1年度出水期前に内容を拡充。	～R1年度	ホットライン構築済み	H30年度	ホットラインは構築済	H30年度	ホットライン構築済	R1年度	
			今後の予定	継続実施	R2年度			対象河川について、引き続き、ホットラインによる情報提供を行う	R2年度～	継続実施	R2年度	継続実施	継続実施			
		・メディア連携分科会を設置する、メディア連携施策のフォローアップ ・ネット環境からの情報発信	実施状況	岡山河川事務所公式Twitterを開設	R1年度	-	-	-	-	-						
			今後の予定	継続的な情報発信	R2年度	-	-	-	-	-						

項目	事項	内容	状況	真庭市		新庄村		久米南町		美咲町		吉備中央町		
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	
2)ソフト対策の主な取り組み (1)迫り来る危険を認識した的確な避難行動のための取り組み														
■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等														
2)ソフト対策の主な取り組み (1)迫り来る危険を認識した的確な避難行動のための取り組み	・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーション(旭川/百間川における国管理区間)	実施状況												
		今後の予定												
	・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の作成・公表(岡山県管理区間)	実施状況												
		今後の予定												
	・広域避難計画の策定 ・広域避難体制の構築等	実施状況			未実施	R1年度	未実施	R1年度	未実施	R1年度	未実施	R1年度	未実施	-
		今後の予定			検討中		検討中		未定		未定		未定	R3年度
	・避難場所等の有効性の検証や広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知、及びまるとまらごとハザードマップ整備	実施状況			未実施	R1年度	未実施	R1年度	未実施	R1年度	未実施	R1年度	小学校区単位のハザードマップを作成(1地区)	R1年度
		今後の予定			検討中		検討中		未定		未定	浸水区域、土砂災害区域の見直し結果を反映したハザードマップの整備	R3以降	継続実施
	・要配慮者利用施設の避難計画の作成支援および訓練の促進	実施状況			岡山県の説明会後、各施設に対し再度作成依頼。窓口でのチェックシートによる内容確認を実施中31/51施設(61%)	R1	要配慮者施設も総合防災訓練に参加	R1年度	未実施	R1年度	未実施	R1年度	未実施	R1年度
		今後の予定			継続実施		定期的実施	R2.6	未定		未定	防災計画に定められている施設について、個別計画の作成、訓練実施の啓発	R2~	未定
	・ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用	実施状況			GIS上で最新情報に修正準備	R1年度	未実施	R1年度	県HPへのリンク設定済	R1年度	未実施	R1年度	未実施	R1年度
		今後の予定			地域防災説明会での意見聴取し作成	R2年度中	検討中		検討中		未定	未定	未定	未定
	・浸水被害軽減地区の指定(水防法第15条の6)	実施状況									未実施	R1年度	未実施	R1年度
		今後の予定									未定	未定	未定	R3年度
・内水の排水活動に資するソフト対策	実施状況									未実施	R1年度	未実施	R1年度	
	今後の予定									未定	未定	未定	R2年度	
■情報の伝達・発信														
・避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上	実施状況			市町村の避難勧告の発令等に着目した関係者一体型タイムライン(防災行動計画)策定済	R1年度	避難情報が発令される状況が発生した際に、後日タイムラインの振り返り及び修正を実施	R1年度	気象台が発表する情報を説明会で確認し、県のタイムラインを参考にしながら作成	R1年度	未実施	R1年度	実施済み	H29年度~	
	今後の予定			精度向上を検討	R2年度中	継続実施	継続実施	未定	未定	安全な避難確保が行えるようなタイムラインへの見直しを実施	随時	継続実施	継続実施	
・多機関連携型タイムラインの拡充	実施状況			旭川水害タイムラインの作成に向け、検討を進めた	R1年度	旭川水害タイムラインの作成に向け、検討を進めた	R1年度	旭川水害タイムラインの作成に向け、検討を進めた	R1年度	旭川水害タイムラインの作成に向け、検討を進めた	R1年度	旭川水害タイムラインの作成に向け、検討を進めた	R1年度	
	今後の予定			出水期までに策定予定	R2年度	出水期までに策定予定	R2年度	出水期までに策定予定	R2年度	出水期までに策定予定	R2年度	出水期までに策定予定	R2年度	
・タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練	実施状況			県水害特別防災訓練において実施済	R1年度	総合防災訓練時に実施	R1年度	未実施	R1年度	未実施	R1年度	実施済み	H29年度~	
	今後の予定			具体的な対策を検討	R2年度中	定期的実施	R2.6	未定	未定	未定	未定	継続実施	継続実施	
・警報等に関連して「危険度を色分けした時系列」や「警報級の現象となる可能性」の情報提供開始及びメッシュ情報の充実化(地域に迫る危険の把握をサポート)等水害危険性の周知促進	実施状況													
	今後の予定													
・危険レベルの統一化等による災害情報の充実と整理、洪水予報や水位周知情報の発表形式の見直し等を行う	実施状況													
	今後の予定													
・洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの構築)	実施状況			ホットラインは構築済	H30年度	水位周知河川の拡大なし	R1年度	未実施		ホットラインは構築済	H30年度	ホットラインは構築済	H30年度	
	今後の予定			継続実施	継続実施	未定	未定	未定	未定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	
・メディア連携分科会を設置する、メディア連携施策のフォローアップ ・ネット環境からの情報発信	実施状況													
	今後の予定													

項目	事項	内容	状況	中国地整		気象庁		岡山県		岡山市		玉野市		赤磐市			
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期		
1)	■防災教育や防災知識の普及	・水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催	実施状況	水防災意識社会再構築ビジョンに基づく減災協議会資料を岡山河川事務所HPに公表	継続実施	関係機関と連携し、効果的な対応を検討する	H29年度～	出前講座等を利用し、防災知識の普及啓発活動を実施(R1年度出前講座等実施47回)	H29年度～	出前講座等における防災情報を提供する中で、水防災意識社会に関する情報を提供	R1年度	防災全般について、H31年は25回実施。今後メニューの中に、水防災について特化したものを検討。	R1年度	出前講座で実施非常食の体験試食を実施済み	R1年度		
			今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	引き続き、出前講座等を活用し、防災知識の普及啓発活動を実施する	継続実施	継続実施	R2年度	継続実施	継続実施	引き続き出前講座などで啓発を行う	継続実施		
		・教員を対象とした講習会の実施、小学生を対象とした防災教育の実施	実施状況	教員向けの講習会、防災教育のモデル授業への支援を行った	R1年度	教育委員会等と連携し、効果的な対応を検討する	H29年度～	小学1年生を対象に、防災知識について学べる「防災ワークシート」を作成し、県内小学校に配布した	R1年度	中学校において全校生徒を対象とした出前講座を実施(1校)市立学校への学校安全アドバイザー派遣を実施	R1年度	未実施	R1年度	キラリ安全フェスティバルを開催し、气象台にも参加いただき、气象台ブースにて啓発を行っていただいた	H28年度～		
			今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	新たに小学生(中学年・高学年)を対象に、防災知識について学べる「防災ワークシート」を作成する。	継続実施	130校実施予定	～R3年度	未定	未定	引き続き実施	継続実施		
		・指導内容に合わせた教材等の作成支援	実施状況	各自治体毎のマイ・タイムライン作成のためのヒント集を作成	R1年度												
			今後の予定	継続実施													
		・スマートフォン等へのプッシュ型洪水情報等の発信	実施状況	スマートフォン等によるプッシュ型洪水情報発信の実施	H30年度				登録制防災情報メールで、気象情報や水位情報、指定河川洪水予報を発信(R2.3現在登録者数67,160人)	R1年度	防災メールの普及を推進LINEによる防災情報の配信を開始	H30年度	防災メールをはじめ、ツイッターやフェイスブックなどで防災情報を配信している	R1年度	出前講座など、地区住民を対象に登録型防災メールの普及啓発実施済み	H28年度～	
			今後の予定	-	-				防災情報メールの登録者数を増やす取組を引き続き実施する。	～R2年度	防災メールの普及を推進LINEへの登録を促進	R2年度	継続実施	継続実施	引き続き実施	継続実施	
		・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	実施状況	公開用カメラの増設事務所HP公開ライブカメラ数71箇所	H29年度				危機管理型水位計等については、H30年度に48基、令和元年度に30基増設。河川監視カメラについては、令和元年度に41基増設。	～R1年度							
			今後の予定	継続実施	継続実施				令和元年度増設箇所については、令和2年度の出水期までに「川の水位情報」を通じて、水位・河川監視カメラ画像などの情報提供。	R2.6							
	実施状況	HPや広報誌、ポスター、チラシによる災害情報の広報・周知	継続実施	HPや広報誌、ポスター、チラシによる災害情報の広報・周知	H29年度～	HPや広報誌、ポスター、チラシ、ラジオ、新聞広告による災害情報の広報・周知を行った。	H30年度～	出前講座等を利用し、防災知識の普及啓発活動を行う	R1年度	未実施			地区防災マップを作成済み	H29年度			
	今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	「ももたらうの防災」の改訂などを行い、啓発資料を効果的に用いて、住民向け広報を強化する	R2年度	HPや広報誌、ポスター、チラシによる災害情報の広報・周知	R2年度	未定	未定	引き続き実施	継続実施				
・災害を低化させないために河川に関するイベントや防災訓練等を実施して、住民が河川や堤防に関心を持つ取組を積極的に進行	実施状況					地元小学生を対象に工事現場見学会等を実施	R1年度	平成30年7月豪雨災害記録誌を作成	R1年度	未実施	R1年度						
	今後の予定					継続的に実施	R2年度～	特に予定なし	R2年度	未定	R2年度						
2)ソフト対策の主な取り組み ②③効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化																	
2)	■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化	・水防団等が参加する洪水に對しリスクが高い区間の共同点検	実施状況	水防団等が参加する洪水に對しリスクが高い区間の共同点検	R1年度	河川事務所が実施する共同点検に参加	H29年度～			実施済み	R1年度			市の職員を中心に河川点検を実施	H30年度		
			今後の予定	継続実施	～R2年度	未定	～R2年度			実施予定	R2年度			未定	～R2年度		
		・関係機関が連携した実働水防訓練の実施	実施状況	未実施	R1年度	関係機関等の要請に基づき、水防管理団体が訓練を支援	H29年度～	関係機関の連携によるタイムラインに基づいた図上・実働訓練を行う県水害特別防災訓練を実施した。	～R1年度	毎年度、6月に水防訓練を実施	H30年度				市の職員を中心に資機材を使った水防訓練を実施岡山県水害特別防災訓練に参加して市図上訓練、草生自主防災組織実働訓練を実施	H30年度 R1年度	
			今後の予定	各自治体の訓練に積極的に参加	継続実施	未定	～R2年度	毎年出水期前に訓練を実施し、風水害に対する応急対応力の向上を図る。	R2年度	今後も継続して行う	R2年度				赤磐市総合防災訓練を実施	R2年度	
		・水防活動の担い手となる水防団員の募集及び水防協力団体の募集・指进行促進 ・水防に関する広報の充実(水防団確保に係る取組)	実施状況	岡山河川事務所HPに水防団員を募集している旨の記事掲載	継続実施					実施済み	H30年度				実施済み	H28年度～	
			今後の予定	継続実施	継続実施					継続予定	R2年度				市ホームページや広報誌等で募集していく	H28年度～	
		・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実及び機能確保のための対策の充実(耐水化、非常用発電等の整備)	実施状況	未実施	R1年度			市町村が適切な災害対応を行えるよう、業務継続計画(BCP)の作成を働きかけた	H29年度～	未実施	R1年度				未実施	R1年度	
			今後の予定	情報伝達、機能確保のための対策の充実に向けて検討	継続実施			業務継続計画(BCP)の作成に加え、受援体制の整備を働きかける	継続実施	浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等に関する情報を共有	R2年度				未定	～R2年度	
		・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	実施状況	災害発生時における応急対策活動の担当区域等を設定し相互協力ができる体制構築を依頼	H30年度					協定内容の確認を行い、内容に修正等が必要な場合は協議し修正する	H30年度		玉野建設業協会と災害協定を締結している	R1年度	赤磐市総合防災訓練を実施し、協定に基づき土砂撤去、道路啓開訓練を実施	H30年度	
			今後の予定	継続実施	継続実施					関係部局と内容について、確認し協定先と協議し必要があれば協定の修正を行う	R2年度				赤磐市総合防災訓練の中で実施予定	R2年度	
2)ソフト対策の主な取り組み ③長期化する浸水を一日も早く解消するための排水対策																	
2)	■排水計画(案)の作成および排水訓練の実施	・排水機構・植門・水門等の情報共有を行い、大規模水害を想定した排水計画を検討及び訓練の実施	実施状況	排水計画(案)を作成	R1年度			H30年7月豪雨時のポンプ稼働状況について、関係市町村に調査を行い、一部の施設で操作規則が作成された。	～R1年度	国が作成する計画の情報を共有	R1年度	情報共有一実施済排水計画→未実施	R1年度(情報共有)	未実施	R1年度		
			今後の予定	作成した排水計画(案)を市町村に共有	R2年度			必要な対策を関係市町村と協議しながら検討を進める。	継続実施	継続実施	R2年度	未定	未定	未定	～R2年度		

(赤字:令和元年5月29日取組方針改定により追加・変更)

項目	事項	内容	状況	真庭市		新庄村		久米南町		美咲町		吉備中央町				
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期			
1)	■防災教育や防災知識の普及	・水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催	実施状況	自主防災組織の避難・防災訓練	R1年度	未実施	R1年度	未実施	R1年度	未実施	R1年度	自治会、ケア会議等での出前講座などを実施	年間	公民館単位の防災講座の実施	H29年度～	
			今後の予定	継続実施	R2年度中	検討中	検討中	未定	未定	未定	未定	未定	出前講座などを活用しながら、防災意識向上を実施していく。	随時	継続実施	継続実施
		・教員を対象とした講習会の実施、小学生を対象とした防災教育の実施	実施状況	教育委員会からの要請で実施	R1年度	令和元年度実施済み	R1年度	町内の小中学校教員を対象として、災害応急対応研修を実施	R1	小学生を対象とした、消防団による防災教育	R1年度	未実施				R1年度
			今後の予定	教委メニューの授業や研修及び引き続き要請により実施	R2年度中	定期的な実施を検討	R2年度	継続実施	継続実施	小学生を対象とした、消防団による防災教育などを実施	随時	未定				R3年度
		・指導内容に合わせた教材等の作成支援	実施状況													
			今後の予定													
		・スマートフォン等へのプッシュ型洪水情報等の発信	実施状況	未実施	R1年度	未実施	R1年度	LINE等による登録制メールを整備し、防災情報を配信	R1	未実施	R1年度	防災情報メール配信サービスの実施	H28年度～			
			今後の予定	未定	未定	検討中	検討中	継続実施	継続実施	未定	未定	継続実施	継続実施			
		・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	実施状況	未実施	R1年度			町内2箇所の河川カメラの映像を町HPで公開	H25年度～							
			今後の予定	リアルタイム提供は検討が必要	R2年度			継続実施	継続実施							
			実施状況	広報、説明会などで周知	R1年度	広報・周知を定期的に実施	R1年度	広報紙等による防災情報の周知	R1年度	未実施	R1年度	未実施	R1年度	未実施	R1年度	
			今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	未定	未定	未定	未定	未定	R3年度	
		・災害を低化させないために河川に関するイベントや防災訓練等を実施して、住民が河川や堤防に関心を持つ取組を積極的に挙げる	実施状況	未実施	R1年度	未実施	R1年度	未実施	R1年度	未実施	R1年度	未実施	R1年度	未実施	R1年度	
			今後の予定	防災マップに防災履歴を掲載	R2	検討中	検討中	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	R3年度	
		2)ソフト対策の主な取組 ②:災害特性に応じた効果的な水防活動														
2)	■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化	・水防団等が参加する洪水に對しリスクが高い区間の共同点検	実施状況													
			今後の予定													
		・関係機関が連携した実働水防訓練の実施	実施状況	未実施		定期的実施	R1年度	未実施		未実施	R1年度	消防団等を中心とした排水訓練	H29年度			
			今後の予定	未定	未定	定期的実施	R2.6	未定	未定	未定	未定	継続実施	継続実施			
		・水防活動の担い手となる水防団員の募集及び水防協力団体の募集・指定を促進 ・水防に関する広報の充実(水防団確保に係る取組)	実施状況	消防機関(消防団)の人員増強	R1年度	村ホームページや広報誌等で募集	R1年度	毎年、消防団員(水防団員)の募集を実施	～R1年度	未実施	R1年度	消防団員による募集活動	H29年度～			
			今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	未定	未定	未定	継続実施	継続実施			
		・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実及び機能確保のための対策の充実(耐水化、非常用発電等の整備)	実施状況			FM告知の整備に伴う告知端末の設置、運用、庁舎非常用発電機の維持	R1年度			未実施	R1年度	職員用防災メールの整備等	H29年度～			
			今後の予定			継続実施	継続実施			未定	未定	継続実施	継続実施			
		・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	実施状況	建設業協会と協定を締結	実施済み	村内事業者5社と協定を締結、災害時には社会基盤の応急復旧を行う	実施済み	町内建設業者との災害協定の締結	H25年度	未実施	R1年度	防災協定の締結(実施済み)	-			
			今後の予定	-	-	-	-	-	-	未定	未定	継続実施	継続実施			
		2)ソフト対策の主な取組 ③:長期化する浸水を一日も早く解消するための排水対策														
		2)	■排水(釜)の作成および排水訓練の実施	・排水機構・樋門・水門等の情報共有を行い、大規模水害を想定した排水計画を検討及び訓練の実施	実施状況			未実施	R1年度	未実施	R1年度	未実施	R1年度	未実施	-	
					今後の予定			検討中	検討中	未定	未定	未定	未定	未定	R3年度	